資料－３

様式Ｖ－５

活 用 効 果 評 価 結 果

技 術 名 称	オデッサシステム
申 請 者 名	オデッサ・テクノス(株)

事 後 評 価	従来技術に比べて活用の効果は優れており、特に経済性、環境において効果的である。また活用の条件の違いによる評価のバラツキが小さい。しかし、現場の適用範囲は十分検証されていない。

成立性	○(技術として成立している)
優位性	従来技術より優れる
安定性	高い安定性を有す
現場適用性	特に広いとまではいえない
留意事項など	**○設計比較対象技術に指定** 「総　括」 ・本技術の活用により、均一で安定した品質の土質改良が可能である。 ・養生期間を必要としないため、即日運搬、盛土が可能である。 ・最終処分場までの運搬距離が長い場合や処分費が高価である場合には効果的であるが、現場近くに最終処分場がある場合はコスト、リサイクルの必要性等の検討が必要である。 ○個別の現場からのコメント 「経済性」 ・最終処分場での処理に対して優れる。 「工　程」 ・施工ヤードが汚泥発生箇所に近接していない場所では、工程に影響が生じる場合がある。 「品質・出来形」 ・配合設定および確認が機械によるため、均一な品質が確保できる。 ・処理土を盛土材としてリサイクルする場合には、汚泥中に有害物質が含まれていないか事前に調査する必要がある。 「安全性」 ・改良機自体がコンパクトであり、安全性は向上する。 「施工性」 ・施工ヤードの広さによっては施工性が左右されるため、200～300m2程度のヤードを確保することが望ましい。 「環　境」 ・残土が現場内で再利用できるため、リサイクル性が向上する。
従来技術	最終処分場での処理
	稲荷山改良工事(関東地方整備局)　(産業処分場(中間処理場)での処理) 熊本3号　二見トンネル新設(その2)工事(九州地方整備局)　(最終処分(産業廃棄物処理)) 熊本3号赤松トンネル新設工事(九州地方整備局)　(最終処分(産業廃棄物処理)) 月山ダム本体建設第1工事(第4期)(東北地方整備局)　(最終処分(産業廃棄物処理)) 臨海大橋下部工第1工事(左岸)第2工事(右岸)(東北地方整備局)　(最終処分(産業廃棄物処理)) 河南高架橋下部工工事(東北地方整備局)　(最終処分場での処理＋購入土) 福村こ道橋下部工工事(東北地方整備局)　(最終処分場での処理＋購入土) 深田橋下部工工事(東北地方整備局)　(最終処分場での処理＋購入土) 天王前地区こ道橋下部工工事(東北地方整備局)　(最終処分場での処理＋購入土) 鹿又こ道橋下部工工事(東北地方整備局)　(最終処分(産業廃棄物処理)) 全10件